

四時軒 ～しじけん～

生徒教員保護者三位一体
祝！創刊1号2号合併号

かえつ有明中高等学校進路部発行

平成31年4月9日発刊

かえつの進路新聞創刊！

【かえつ有明中高 進路新聞“四時軒”創刊のご挨拶】

かえつ有明中高等学校は、この有明の地で中高一貫生を既に8世代の卒業生を輩出するに至りました。移転共学化後一心不乱に進めてきた進路指導は、この度進路部が発足して、さらに本学が持っている115年の経験と知恵をベースに新たな飛躍を遂げたいと思いを新たにしています。新しい時代を担う子供たちと私たち教員と保護者のみなさまが一体となるべく、この発刊が少しでもお役に立てればと願うばかりです。今後適宜発刊していきます。

中学1年生のみなさんと高校1年生のみなさんご入学おめでとうございます。世に数多ある学校から本校を選んでくれてありがとうございます！凄く嬉しいです。本校を選んでくれた全校生徒1120人の生徒1人ひとりの挑戦に、私たち教員と一緒に挑むことは、本校を選んでくれたことへの感謝の印です。どうぞよろしくお願ひします！

本学園創設者嘉悦孝の父嘉悦氏房は幕末の儒学者横井小楠の高弟です。小楠の私塾を「四時軒」といい、彼の教えは勝海舟、吉田松陰、西郷隆盛などを経て現代社会へ通じています。日本と世界の未来像を描いたこの塾の名こそ進路新聞に相応しいと本紙の名に頂きました。(進路部長 有馬史彦)

【進路から～学習者として学んで欲しいこと～】

中学入学時から高校卒業時にかけて大きく飛躍するために、中高6か年は大まかに3つの時期に分けられます。この時期ごとの学習テーマを記します。意識して過ごして下さい。

入学から中学後期にかけての第1期 学習者の基本習得の期間

大学入試 500 日前前後までの第2期 学習者の基礎力を試して世界を拡げていく期間

高3の0学期(高2の3学期)前後からの第3期 基本をよすがに自分の世界を構築していく期間

習得時期の多少ズレは気にしなくても構いません。肝心なのは基本を1つも残すことなく学ぶべきことを習得することです。学習者の基本習得が確立されると、何をどうやっても正しく効果的な振る舞いができているようになります。子曰く「心の欲する所に従えども矩を踰えず」のごとくです。

【学習者として望まれる基本10のこと】

今回は上記の第1期学習者の基本習得の期間に習得して欲しいことを挙げてみます。

- ① 教室の机は整頓してまっすぐに並べて、椅子には深く座りましょう。^{ほぼぼえ} 頬杖などしない。頬杖すると体は休もうとしてすぐに心を休むように引っ張ってしまうものです。
- ② 机の上は学んでいる科目以外のものは置かないようにしましょう。脳が関係ないものを「なかったことにしよう」と活発化します。集中できません。自宅スマホは勉強部屋と寝室とは別室がいいです。
- ③ 早寝早起き生活習慣を整えよう。睡眠の質を良くすること。脳が眠った学びなんてありません。
- ④ 時間を守りましょう。約束の時間にそこにいるや提出物を正しく出すこと。自己管理の基本です。
- ⑤ 筆記用具やノート下敷きなど道具は大事にしましょう。勉強道具を床に置いてはなりません。
- ⑥ 大勢が集まったときはいちはやく私語を慎みましょう。大勢でも少人数でも自分のやるべきことをやる姿勢を貫くことがみなさんが言う“ケアレスミス”とやらを防いでくれます。
- ⑦ 人や簡単なことをバカにしないようにしましょう。人をバカにすれば誰も応援してくれません。簡単なことをバかにしたら基本の習得に必ず抜けができます。学ぶことなどないと思っても、そういうことにも多くの学びがあることは多々あることです。
- ⑧ 一発逆転的な発想は捨てましょう。学びは小さな積み重ねだけでしか積み上がりません。一発逆転を狙った大技を決めようとする基本ができてないので大ゴケして傷を深めるばかりです。
- ⑨ あいさつをしよう。学びは独りでできません。人とのつながりのなかにあります。
- ⑩ ごめんなさいと言うべきときを心得て、そのときはちゃんとごめんなさいと言いましょ。フェアに自分を見つめること。これは歳を重ねるとさらに難しくなるので若いうちに習得したらより多くを学べるようになります。

【学習面から今学期を見通そう】

4月26日(金) 校内模試(高3の一部は25日より)	2日(日) 英検実施日(校外受験)
28日(日)～5月4日(土) G.W.講習(高3)	10日(月)～14日(金) 進路学習面談
5月7日(火) 中間試験2週間前	14日(金) 漢字検定 15日(土) GTEC(高3)
14日(火)～20日(月) リカバリーウィーク	18日(火) 期末試験2週間前 22日(土) 数学検定
21日(火)～24日(木) 中間試験	25日(火)～20日(月) リカバリーウィーク
6月 学習月間 1日(土) 体育祭	7月2日(火)～5日(木) 期末試験

【迫る！校内模試】

中学は学習実態調査 高1高2はスタディーサポートの実施です。どちらもベネッセ主催で基本的な事柄を把握できているか？学習に臨む態勢はどこまでできているか？を丁寧に調査するものです。

高3は全統マーク模試(河合塾)を実施します。各自 IC プレーヤーを使用して本番に備えます。高

3の模試はこれ以降ほとんどが校外会場の実施となります。これは本番への鍛錬を意味しています。

そして模試は受けているときは当然として、受けた後の行動がその後に伸びに関係します。受験後すぐの解き直しとテスト結果返却時の間違いチェックの徹底です。これが成績を伸ばす要です。

【各学年のこと】

《中1》 中高は小学校とは異なり、各教科で作成した中間試験期末試験という定期試験を行い、主にこの結果から各学期の成績を出します。初めて中間試験に挑むのですから、戸惑いはあるでしょうが、授業に意欲的に集中して臨み、復習を怠らない正しい学習の基本習慣を体得したら問題ありません。ゴールデンウィーク明けが試験2週間前です。日程を頭に入れた過ごし方も学んで下さい。また肉体的な疲労も大きくなると思われます。正しい生活習慣の確立は一番の獲得すべきことです。

《中2》 中学生になって1年の月日が流れました。試験や授業にもそれなり慣れてきたことだと思います。で、先人たちの多くはこの慣れに流されて“中弛み”をしてしまいました。ただこの“中弛み”の症状も一人ひとりです。ここをガマンして乗り越えられた人は中3そして高校と学習は良い流れに乗ることができます。じゃあこのガマンとは何かとなるのですが、これは学習者の基本を守るということです。一発大きいのを狙うより小さな積み重ねしかないということです。

《中3》 よく「高校進学が決まる1学期だけは頑張ろう」と口にしてている人がいますが、これはとんだ心得違い甚だしいです。14歳15歳は心身ともに大きく子供から大人へと成長する時期です。かけがえのない日々にあります。この1年をどう過ごすか!生きていくのか!でその後の生き方が大きく変わります。少なくとも高校3年間の学び得る広さと深さが変わっていきます。ゆえに頑張るのは1学期のみではいけません。自分の将来の役割を決める当事者として日々奮励を期待します。

《高1》 じつは1学期の過ごし方は決定的に高校生活に影響を及ぼします。「高校は始まったばかり。まだのんびりやろう」と1学期の中間試験の1週間前のみちょちょっと勉強して試験に臨み、それで試験結果が思わしくなく、それを挽回するどころか引きずって、自分の思い描いた将来への壁を作ってしまう人がいます。1学期2学期の成績は高2以降の文理選択の大きな指標になります。将来のためには成績がすべてとは言いませんが、大きな要素たることを心得て下さい。今年はゴールデンウィーク明けの5月7日(火)が中間試験2週間前です。お休み期間中もどんなに少なくとも毎日机にむかって学習するように努めて、5月7日(火)には試験準備に移って下さい。

《高2》 高2になりますと基本習得基礎力実践という話から、一つひとつ具体的な狙いを持って生活する時期になります。8月には大学入試本番500日前を迎えます。AO入試ははやいと高3の夏場が勝負ですから既に500日前に入っています。大学は成績の良い人を受け入れたいとしてますが、本当は意欲的に当事者能力を持ち未知の問題を乗り越える忍耐力と創造力を鍛えてきた人こそ欲しがります。これを心得て先ず志望学問系と志望校を(途中で変えていいですから)決めて下さい。

《高3》 乗り越えるべきことが多々なのが高3なので、ちょっとやそつとに動ぜずに日々判で押したように積み重ねて欲しいものです。そして思ったようにいかなくなる前に、今こそ学習者の基

本を押さえ直して欲しく思います。基本を守ること大事を未然に防ぐことが肝要です。そして高3は大事な書類等を自分の責任で扱うことがやたらと多くなります。やはり自分の人生の一番の責任者は自分です。当事者能力を発露して欲しいです。これら大変な状況に臨むに当たりみなさん一人ひとりと先生たちとお家の方々はかけがえのない仲間であることも忘れないで欲しいです。

【高2高3放課後一般受験講座】

<時間割>

曜日	学年	講座名	講義担当	実施時間	教室	実施時刻
月	高3	英語S	下山先生	120分	センターB	15:30~17:30
火	高3	古典	岡田先生	90分	センターBC	15:30~17:00
水	高3	現代文	鈴木先生	90分	センターB	15:30~17:00
木	高3	理系物理	福富先生	90分超	センターB	15:30~
木	高3	理系生物	高松先生	90分	センターD	15:30~17:00
木	高3	文系世界史	澤井先生	120分	センターC	15:30~17:30
金	高3	難関大数学	田中先生	90分	センターB	15:30~17:00
土	高3	英語S演習	下山先生	90分	センターC	12:40~14:10
月土	高3	英語D	澤井先生	90分	センターC	(月)15:30~17:00 (土)12:40~14:10
月	高2	現代文	鈴木先生	90分	センターE	15:40~17:10
火	高2	英語S1	下山先生	120分	センターE	15:40~17:40
木	高2	文理数学	三島先生	90分	センターE	15:40~17:10
金	高2	英語S2	下山先生	120分	センターE	15:40~17:40
火金	高2	英語D	澤井先生	90分	センターD	15:40~17:10

自習室 高3はセンターA 高2はセンターDEの開放できるときです。

注意事項 (1) 受講生は「講習会員」に登録します。
 (2) 講習会員は月額4,500円の講習費がかかります。
 (3) 講習会員は何講座でも受講可となります。
 (4) 受講に際して受講申請して貰います。
 (5) テキスト購入の場合は別途実費が掛ります。
 (6) 欠席遅刻連絡は事前に保護者よりお願いします。
 (7) 高3は、中間期末試験の1週間前も実施しますが高校2年生の講座は実施しません。
 (8) 教室使用後は各学年の責任で黒板を整えるなど現状回復をお願いします。

(9) パーテンションの開閉は各学年の先生の責任で実施しますので、その際生徒のみで開閉が行わないようにお願いします。ケガの防止とパーテンション損壊の防止が目的です。
 (10) 変更の場合もあるので注意して下さい。
 (11) 本講習は一般受験対策を目的としたものです。通常の授業に問題がある生徒には場合により、参加を控えてもらうことがあります。
 (12) 高2英語S1とS2は同内容の別講座です。これらと英語Dは同時受講不可です。